

様式第 1 ( 8 )

自然海浜保全地区内物の集積 ( 貯蔵 ) 許可申請書

広島県自然海浜保全条例第 6 条第 1 項及び広島県自然海浜保全条例施行規則第 5 条の規定により 自然海浜保全地区内における物の係留又は土石、竹木等の物件のたい積の許可を受けたく、次のとおり申請します。

年 月 日

申請者の氏名及び住所  
( 法人にあつては、名称、 )  
( 住所及び代表者の氏名 )

\_\_\_\_長 様 ※竹原市域内以外  
広島県知事 様 ※竹原市域内のみ

目	的	
場	所	
行為地及びその 付近の状況		
集積 ( 貯蔵 ) 物 の 種 類		
施 行 方 法	集積 ( 貯蔵 ) 方法	
	土地使用面積 及び集積 ( 貯蔵 ) する高さ	
	関連行為の概要	
	集積 ( 貯蔵 ) 設備	
予 定 日	着 手	年 月 日
	完 了	年 月 日
備	考	

(備考)

## 1 添付図面

- (1) 行為の場所を明らかにした縮尺 1:25,000 程度の地形図
- (2) 行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺 1:5,000 程度の概況図及び天然色写真(カラー写真)
- (3) 行為の施行方法を明らかにした縮尺 1:1,000 程度の平面図、立面図
- (4) その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

## 2 注意

- (1) 申請文の「 自然海浜保全地区」の箇所には当該自然海浜保全地区の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。
- (2) 「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (3) 「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採、転石の除去等当該行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (4) 「備考」欄には、次の事項を記入すること。
  - ア 他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況
  - イ 土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み
  - ウ 過去に広島県自然海浜保全条例の許可を受けたものにあつては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件
  - エ 当該申請に関する連絡先(電話番号又はメールアドレス)なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。
- (5) 申請書の用紙の大きさは、日本産業規格(JIS) A 4 とすること。